

第4班

機電職の今後のあり方

竹中 森田 日本道路 末永 大林組 兼杉
飛島 荒川 鹿島道路 渡辺

機電業務とは

- ・機械・電気の積算、計画、施工管理
- ・能力を生かした機械の開発、設計
- ・土木・建築職員をフォローする役割

問題点

機電職の地位が低い

- ・採用が減っている。
- ・サポート的役割、便利屋
- ・計画の段階では重宝されるが、その後は管理だけ。
- ・仮設工事を軽視される。

改善策

更なる知識、経験をつける！

土木・建築技術にも特化した機電職になる。

今後の展望

機電職の実績をあげて必要性を認めてもらう

・機電職員の継続的雇用

- ・土木・建築技術にも特化した機電技術の開発を行い、受注に結びつける

まとめ

建設業界を取り巻く厳しい状況の中、顧客を満足させるよいものを造るには、土木、建築、機電を問わず一丸となって技術力を駆使する必要がある。その中で機電職として土木、建築技術に精通していく必要があり、そのことにより、建設業での逞しい機電職になれるのではないか。